

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.7	BEEランク	A
建物名称	北4東6周辺地区第一種市街地再開発事業(第一工区)施設建築物等新築工事 南街区	総合評価 ★★★★★			
建物用途	集合住宅				
延床面積	30,861.31 m ²				

2 重点項目への取り組み

地球 温暖化 対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★
	省資源等	★★★★☆
	緑化	★★★★★
	雪処理	★★★★☆

レーダーチャート

この建物は特に
省エネルギー性能
が優れています

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー		合計	28点	／24点
Q1 温熱環境	スコア 4.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0
Q1 光・視環境	スコア 6.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.0
		LR1 設備システムの高効率化	スコア	10.0
		LR1 効率的運用	スコア	3.0
B 省資源等		合計	16点	／23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.0
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア	5.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア	3.0
C 緑化		合計	11点	／16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0			
D 雪処理		合計	2点	／3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0

4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー		
共用部居室部の換気設備は全熱交換器を設置、住戸専有部の開口部は二重サッシ（アルミサッシ単板ガラス+プラスチックサッシペアガラス）、各サッシにクレセントを設け、熱負荷軽減に配慮した。 共用部及び住戸専有部すべてをLED照明を採用した。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
設備は耐用年数の長い配管材を採用し更新間隔に配慮した。PS、天井内配管等により設備との錯綜を回避し、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	通常の緑化基準（20%）よりも緑化面積（26%）を多くとり、広場や緑道を整備して、居住者のみならず近隣や訪問者を含めた市民の憩いの場を提供する計画とした。 寒冷地の気候に適した樹種の選定により維持管理負担を低減し、緑化空間の持続的な活用が容易な計画とした。	ガスコージェネ予熱水の熱源を利用した融雪設備を設置し、エネルギーの有効活用を図った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される